

第 109 回東葛しぜん観察会

お正月飾り作り

三角 紀久子（流山市）

日 時：2014 年 12 月 14 日（日）

場 所：松戸市民会館（松戸市）

参加者：28 名（うち、子ども 3 名）、指導員 11 名

担当指導員：草野、日野原、三角

市民会館 201 会議室は 9 時きっかりに開錠しました！ すでに参加者も待っていて、会場作りや展示物、材料、道具類のセットなど、受付前の 15 分は「間に合うかしら？」と不安な気持ちもキビキビと動く指導員さんを見て一瞬で吹っ飛びました。

始めに皆さんにお正月にゆかりの万両、千両、十両を見せると「同じような赤い実が下についている！ こっちは上向きについている」と違いに気づいていただきました。つぎにユズリハとウラジロのいわれを紹介し、これらを展示して見ていただきました。

いよいよ、お正月飾り作りです。出来上がりを見せながら、「藁をなって輪を作り、松と自然の木の実と水引で飾りを作りお正月ピックをつけて完成」と手順を説明しました。

会場が狭いので、藁をなう班と飾りを作る班に分かれました。試作会の時に藁が思うようにならず、指導員は四苦八苦しました。それで藁を持ち帰り、練習してコツをつかんできたからでしょうか、アドバイスとお手伝いを要領よくしていただき、参加者の皆さんには驚くほど上手になうことが出来ました。飾り物作り台ではたくさんの松ぼっくり、ヒマラヤスギ、ツバキ、フウなどから好きな物に色をつけ、それぞれワイヤーをかけてパーツを作ります。最後に藁の輪に松、木の実、水引、お正月ピックを取り付けました。皆、無事に時間内に出来上がり、楽しんでいただいたようでした。特に親子三代のグループは伝統にとらわれない新しい飾りつけで、注目を浴びていました。

参加者の感想には「しめ縄は難しかったが楽しかった」「想像より素敵な材料で立派な飾りが出来た」「自然の物で季節の行事や意味を学べて良かった」「木の実が生っているのを散歩の時に探して観察します」「また、参加したい」とありました。

今回、藁を準備してくださった皆さん、こつこつ収集された貴重な木の実を提供してくださった方々、宿題までしていただいた指導員の皆様、有難うございました。

